



検討委員会だより

令和5年8月 第1号
適正配置等検討委員会監修
白子町教育委員会発行

この「検討委員会だより」は、昨年度、設置された「白子町小学校適正配置等検討委員会」の活動を町民のみなさんに、広くお知らせするものです。昨年度は、活動の内容をお知らせすることができませんでしたが、今回の各地区意見交換会を機に、作成し配付することになりました。

第1号は、昨年度の活動と6月に行われた意見交換会の質疑応答を掲載いたします。次号については、10・11月に予定されている意見交換会のまとめを掲載する予定です。

1 白子町小学校適正配置等検討委員会とは

児童の減少に対応するため、本町においても**学校規模の適正化**を図る必要があり、将来への望ましい教育環境のあり方を見出すことを目的とし、白子町小学校適正配置等検討委員会が設置されました。

2 昨年度（令和4年度）の活動

	月	内 容
第1回	5月	委員会発足、委員委嘱、趣旨説明、会長・副会長選出
第2回	7月	白子町3小学校視察 保護者アンケートの内容検討
	9月	保護者アンケート実施
第3回	11月	他の市町村の視察
第4回	2月	アンケートの結果について検討
第5回	3月	中間答申（案）の作成、今後の方向性について

3 中間答申

- 令和5年3月に、白子町教育長宛に中間答申を行いました。ここでは、「具体的な小学校配置案について」と「付帯意見等」について載せさせていただきます。

白子町立小学校の適正配置に関する具体的な方策について（中間答申）

令和4年5月27日の「白子町小学校適正配置等検討委員会」において、諮問のあった標記の件について、下記のとおり答申いたします。

記

1 主旨 中略

2 具体的な小学校配置案について

- 白子町の小学校配置は、現在の3校を統合して、1校にするべきだということになりました。

(1) 理由

- ・ 現在3校とも、各学年1学級だが、児童の減少により、7年後には、2学年が一緒のクラスになる複式学級になることが予想されるため、複式学級は回避したい。
- ・ 3小学校の施設が老朽化しており、改修には、多額の費用が必要になる。

(2) 統合時期

- ・ 複式学級になることが予想される7年後以前が望ましい。

(3) 使用校舎・場所

- ・ 町の中心部で、津波等の被害の心配のない場所。 ・ 校舎は、3階建て以上の新築校舎。

◎ 付帯意見等

- ・ 津波対策、道路整備等の安全対策を講じるとともに、白子町独自の安全マニュアルを作成すること。
- ・ 小中一貫教育を視野に入れ、中学校に隣接した場所に校舎を建設すること。
- ・ スクールバス等の通学手段を整備するとともに、バスロータリーや保護者駐車場を確保すること。
- ・ 白子町として魅力ある学校教育ができるように教育環境整備を行うこと。
- ・ 現在のきめ細やかな指導体制を維持するために、教員だけでなく、支援員等の配置を充実させること。
- ・ 統合して、廃校となった施設や跡地利用を十分考慮すること。

※語句の説明

○小中一貫校 ～ 同じ地域の小学校と中学校が連携し、9年間を通じた教育計画に沿って教育を行うものです。授業だけでなく、小学校・中学校の垣根を超えてさまざまな活動や行事に取り組みます。

○複式学級 ～ 児童・生徒数が著しく少ないなど、特別の事情がある場合には、政令で定めるところにより、二つ以上の学年の児童・生徒を1学級に編制することができます。

3 意見交換会

○ 皆さんから、広くご意見を伺うために、3小学校の体育館で、意見交換会を実施しました。

(1) 実施回数・参加者数

○ 3地区×2回（保護者・住民）＝6回実施

○ 6回の実施で、住民19名、保護者17名、合計36名の参加がありました。

(2) 会場での主な質疑応答一覧（会場で出されたみなさんからのご意見を抜粋してみました。）

項目	質問 意見	質問・意見の内容	回答	回答の内容	地区
意見交換会	質問	・統合が決定した後の説明会や意見交換会は行われるのか。	回答	・まだ具体的なスケジュールはできていないが、準備委員会から具体的なものが出てきた時点で意見を聞いていく。また、HP等でも広報していく。	関 保護者
小中一貫校	質問	・小中一貫校とはどのようなことなのか。	回答	・小中一貫校のメリットとしては、乗り入れ授業ができる。小学校から中学校への入学がスムーズに行える。	白湯 住民
施設 (経費)	質問	・経費的にはどうなのか、説明があってもよいのではないか。	回答	・費用についてシミュレーションはしている。建築した場合の費用と3校を維持するための費用を比較しているが、今ここで出せないのが、次回の説明会までには出したい。	白湯 保護者
施設 (敷地)	質問	・白子中から内容谷川までの土地を買収すると聞いたことがあるが、どうか。津波を考えると内容谷川の西側に建てるのが良いのではないか。	回答	・内容川の西側が良いのではないかとのことだが、早い時期に建てるためには白子中の敷地内が良いと考えている。	関 住民
施設 (新校舎)	質問	・新しい校舎を造るとして、このまま人数が減り続ければ、空き教室が増える。	回答	・児童数の減少はあるが、12学級分の教室をつくりたい。しかし6年生は中学校の教室を使うなど、中1ギャップを考えるといろいろな方法がある。空き教室ができて、少人数指導やフリースペースとして使うこともできる。	白湯 保護者
スクールバス	質問	・スクールバスの利用や登校時間などが心配。	回答	・スクールバスは必要だが、具体的な本数や台数、時間は準備委員会で話し合われていく。そのためにも保護者の意見を聞いていく。	白湯 保護者
統合	質問	・すでに統合した他市町村の学校のメリット、デメリット、保護者の意見を知りたい。	回答	・睦沢小では、保護者の方の意見として、統合後に子どもがいじめられないかが心配されていたが、子どもたちの順応は早く、視察時には活発な授業を行っていた。 ・大人が気にするほど、子どもたちは気にしていなかったと聞いている。	白湯 保護者
統合 (時期)	質問	・統合するとなると、最短でいつになるのか。	回答	・統合するとなった場合は、国への補助金の申請や借入金を考えると最短で、令和9年になる。	関 保護者
複式学級	質問	・複式学級（人数が少ないと2学年が1学級になる）は解消しなくてはいけないのか。	回答	・白子町でも子どもたちの教育環境を考えると、複式学級は解消した方がよいのではと考えている。	白湯 住民

○ 主なご意見・ご質問を掲載しました。詳しい内容は、白子町のホームページ(<https://www.town.shirako.lg.jp/>)の「小学校適正配置等検討委員会」のページを開いて、「意見交換会質疑応答一覧」をご覧ください。

4 今後の予定

地区名	保護者意見交換会				地区意見交換会			
	月	日	時間	場所	月	日	時間	場所
白湯	11	30日(木)	18:00	白湯小体育館	11	25日(土)	10:00	白湯小体育館
南白亀	11	16日(木)	18:00	南白亀小体育館	11	11日(土)	10:00	南白亀小体育館
関	11	9日(木)	18:00	関小体育館	10	28日(土)	10:00	関小体育館

次回の意見交換会は、10月・11月を予定しています。詳しい日程は、9月配付の自治会回覧か、白子町のホームページ(9月更新)をご覧ください。保護者のみなさんには、9月中旬にご案内を配付します。